

地域住民とともに
地域活動の拠点づくりをつづけて



2024年2月19日
一般社団法人だんだん会理事長
宮崎和加子

本日の主な内容

1. だんだん会の発足と目的
2. 7年間の経過と現状
3. BCPに取り組んで



山梨県北杜市の概要

山梨県北西部に位置

(ハケ岳南麓地域、塩川釜無川流域地域)

人口 45,709人 (2023.4.1現在)

(65歳以上人口 18,414人)

高齢化率 40.3%

※(全国平均) 29.0%(2023.4)

<年齢別高齢者人口>

前期高齢者(74歳以下) 8,731人(49.7%)

後期高齢者 8,825人(50.3%)

面積 602.89km²

(在宅死亡率 11.0%)



首都圏から近く、別荘・移住者が
多い地域

一般社団法人だんだん会

2016年設立・2017年事業開始

当法人は、加齢や病気・障害があっても、**住み慣れた地域(⇒住みたい地域)**で自分らしく暮らし続けられる地域づくりをめざし、また、人権を尊重した良質な医療と看護・介護・福祉を実現するために、地域住民と力を合わせ住民の保健福祉の向上に寄与することを目的とする。

また、人々が豊かな自然環境の中で、**心身健康に幸福を実感して生きることが**できることに寄与することを目的とする。

一般社団法人だんだん会の理念

◆営利を目的としない

医療・介護・福祉は営利を目的とせず、しかし事業継続できるような経営を安定できるように運営することが重要であると考えます。そのことを実現するためには「一般社団法人」は適していると考え、良質な事業運営・サービス提供を目指していきます。

◆地域住民とともに、地域に役立つ医療・介護・福祉をていねいに実践していく

“地域住民とともに“を基本とし、住民視線で地域活動の居場所作りも実施します

◆誰でもが利用しやすいような配慮

生活保護の方、また経済的理由で利用できないということがないように、法人として種々の案を講じ、誰でもが利用しやすいように運営します。

目標

大好きな北杜で最期まで暮らし生きる支援

地域に求められる
たくましく優れたフロの
看護介護リハビリ集団づくり

住民が主体的に
自分の“まちづくり”を

2. 7年間の

取り組みの経緯と現状

だんだん会の現在の事業

2024. 2. 19現在

<収益事業>

1. 「**グループホームわいわい白州**」(認知症高齢者グループホーム)
2. 「**わがままハウス山吹**」(多機能型シェアハウス事業)

3. 「**地域看護センターあんあん**」(訪問看護ステーション)
4. 「**定期巡回てくてく24**」(定期巡回サービス)
5. 「**訪問介護にここ**」(訪問介護事業)

6. 「**リハ特化半日テイるんるん**」(通所介護事業)

<地域共生事業>

- ・『**オレンジサロン白州・長坂**』(認知症カフェ)

私たちの目標・使命

『自分らしく生ききる人生』の応援団として
最高の支援をする

重度の要介護状態・医療ニーズが高い状態でも
家族の種々の負担を最小限にし
自宅・地域の生活の場で暮らし続けられるように
自分らしい人生の最期を送ることができるように
多職種・他事業所連携チームで
24時間・365日支援体制で



一般社団法人だんだん会

事業所番号 1991900100

定期巡回てくてく24

(定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業:一体型)

<看護強化タイプ>

大好きな北杜で

最期まで自分らしく

ご自宅で安心して暮らし続けていくために

ヘルパー・看護師が

24時間365日、毎日、一日複数回訪問して

お手伝いします！



介護保険事業所番号 1991900158

一般社団法人**だんだん会**

リハ特化半日**ディ**るんるん

(地域密着型通所介護事業：介護保険適応)

〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条 436-4

TEL0551-30-7509 FAX0551-30-7519

<http://dandankai.com>

問い合わせは、上記か法人本部（0551-45-9566）まで

心
う
き
う
き
た
く
ま
じ
く

**転倒しない“心と体”
づくりをお手伝いします！**

国家資格を有するセラピスト（理学療法士・あん摩マッサージ指圧師等）が、心と体を整え、日常生活を支えます！

＜実施内容の例＞

小集団リハ・セラバンド・ボール・ヨガ
サイクル・リラクゼーションなど

住民とともに新たな事業

わがままハウス山吹

入居者・利用者が“自分らしく”“自由に”“わがまま”に暮らしていただく、「多機能型シェアハウス」

- ①わたしの茶の間山吹（住民主体型サロン）
- ②見守りつきハウス山吹（見守りつき住宅）
- ③別荘ホスピス山吹（重度者ケアハウス）

- 特徴 ◆「支援付き共生すまい」にすること
多様なニーズに対応するシェアハウス
- ◆医療・看護・介護サービスは、プロのチーム集団
在宅ケアのプロ集団と地域住民のコラボネーション
 - ◆地域住民が主体となって創設・運営を行っていくこと
運営は、「住みよい共生すまい作り地域会議」

国土交通省「スマートウェルネス住宅推進モデル事業」の補助金対象

- ☑ 気がついたら今日だれとも話していない。
- ☑ 毎日一人でお昼ご飯を食べるのがつまらない。
- ☑ だれかにちょっと相談したいことがある。

そんな時、サロン「わたしの茶の間」に いらっしやいませんか



“この地域が好きでここでずっと暮らし続けたい”と思いながらも少し不安な事も増えてきました。

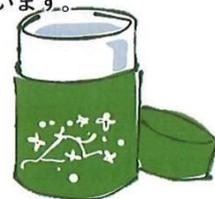
外からの助けを待つばかりではなく、自分たちで出来る事から始めようと「わたしの茶の間」を企画しました。

“のんびり茶の間に集うように、温かな時間を共に過ごし、親身に話して繋がりを深めていけたら”と願い、6月から毎月2回開催します。

「わたしの茶の間」に
寄っちやばれ

一緒にお昼ご飯を食べ、ワイワイみんなでおしゃべりしているうちに心配事が少し減ってくるかもしれません。

毎月 第1・第3月曜日に予定していますので、3月まで継続して参加していただければと思います。



日時： 6月4日（月）10時～14時 （第1回目）

（ご都合が悪く欠席される場合は、3日前までにご連絡ください）

内容： 一緒にお昼ごはん、おしゃべり など

（どんなことをしたいかも話し合います！）

費用： 参加費（飲み物、お菓子など）300円

昼食代 500円

場所： だんだん会長坂事務所 北杜市長坂町夏秋 918-5

TEL 0551-45-9566



※申し込み方法は裏面にあります。また、申し込み時に、お名前やご住所などを登録させていただきます。

サロン「わたしの茶の間」 主催：八ヶ岳ふるさと倶楽部「根っこ会」

共催：一般社団法人 だんだん会

高齢者集いの場事業
「お元気です会」

4月
桜のお茶会

4月のテーマは「桜」です

4月20日(水曜日)
13:30~15:30 くらいまで
詩遊館にて

抹茶をいただきながら楽しい時間をすごしましょう

湧水地区分館活動での「だんだん会」理事長・宮崎和加子氏の講演会の時、有志の方々から「もしもの時のネットワーク」を構築できないかとの提案がありました。さっそく調査、高齢者集いの場事業というのを知り「お元気です会」をたちあげることとなりました。
今回は記念すべき第一回目の集い「桜のお茶会」の報告です。

4月20日(水) お元気です会「4月 桜のお茶会」

まずは桜湯とこんべい糖でウェルカム？
ドリンク



開会の挨拶の後
抹茶とお菓子をいただきます



お茶は
一保堂 幾世の昔
青松園 青松の白

お菓子は
道明寺と草餅
宮崎氏差し入れの
武川・秋月のよんぱち団子
です

その後煎茶で喉を潤しながら桜の和歌十選の作者当てクイズ
各自好きな和歌を選んで朗詠しました。
最初は恥ずかしがっていた方たちも参加！全員がそれぞれの詠い方で
大変楽しかったです。



人気は紀友則の和歌
久方の
光のどけき
春の日に
しづ心なく
花の散るらん

四名の方が選ばれ
詠われました。

次回「五月のお元気です会」は5月18日(水)に開催の予定です。
「向さんのピアノ演奏」と「優雅にアフターヌーンティを楽しむ」会です。
みなさまお楽しみに！

桜の和歌 十選

*クイズ
下から作者を選んでください
西行法師は二首入っています

作者

1	小野小町
2	西行法師
3	在原業平
4	詠み人知らず
5	伊勢大納言
6	紀友則
7	良寛
8	与謝野晶子
9	大江匡房

8 7 6 1 9 2 2 5 4 3 答

油屋くらぶご紹介

油屋くらぶ ... スタートしました

- ◆ 農や食を通して地域での人と人のつながりを豊かにしていきます。
- ◆ 工芸教室・体験教室などの場を企画し、毎日のくらしを楽しくします。
- ◆ この地で充実したくらしを安心して続けて行くために、介護や行政サービスを学び、互いの支え合いを強めていきたいと思ひます。



油屋くらぶ ... こんな集まりです

- ◇ 2022年、「油屋」は生活クラブ山梨の助成を受け、厨房設備を中心に「集える場」の整備をしました。
- ◇ 10名余りの運営委員を中心に、年間を通して様々な企画を考えています。興味のある方、どなたでも気軽に参加してください。



主な年間の予定

- ◆ 米作り・綿作り
- ◆ フルーツクラブ
- ◆ 編み物教室
- ◆ 薬膳料理・雑穀料理
- ◆ ジャム・ソース作り
- ◆ 靴造り・味噌造り
- ◆ 金継ぎ教室
- ◆ 地域探検・自然観察
- ◆ 介護などの勉強会
- ◆ その他楽しみ一杯！



地域や趣味の集まりでのご利用も出来ます。

半日：1500円
全日：3000円
他に暖房費等

連絡先：油屋（石川治子）
☎ 0551-47-5200

温かみあふれる地域の結びつきを築いていきましょう

“自分らしく”

“生き活きと”

“生ききる” ことの

支援とは

**「生き活きと生きる」とは
「自分らしく生きる」とは**

**生かされて「生きる」のではなく
自ら、主体的に、目を輝かせて**

自分らしく生ききる人生を！

自分が決める！

お互いに！

支援します！

だんだん会 ホームページより



3. BCPに取り組んで

①入居・入所群

グループホーム・わがままハウス山吹

②在宅支援群

訪問介護・定期巡回・訪問看護

③通所群

リハ特化半日デイサービス

リハ特化半日デイサービス (通所介護)

<取り組みの経過>

◆作成にあたり「ひな形」から取り組んでみた

それによってあれもこれもと気づかされ、必要なことが分類整理できた。

◆サービスを提供している間でも、災害に遭遇したらどうするのかをシュミレーションしながら作り上げた。

常にシュミレーション（想像）してみることで、意識することで不足していることをピックアップすることが大事であり、そういう場が必要だと感じた。

◆BCPに対して構えず、普段から見直しを繰り返す場や作業が必要

◆まずは、職員の安否確認が最優先されるのではないか

そのための連絡網の作成、発災後、警戒レベル3以上の発令時に各自職場への状況報告を研修・ミーティング等で伝えていくことにした。その際の手段は検討中。

リハ特化半日デイサービス (通所介護)

<様々な課題・不安>

- ◆サービス提供時間ではないときに災害が発生した場合、私たち支援者（スタッフ）はどうしたらいいのか
- ◆大勢の利用者・家族の安否確認、どこに確認したら、どのように確認したらいいのか。実際にどのようにするのか
- ◆自分自身、その家族も被災し不安な時に、業務にどれだけ集中できるのだろうか。各自の業務継続こそどうなのか。
- ◆建物の構造上、備蓄品や避難用の物品収納のための保管場所が確保できていない。場所の確保にも費用の捻出が難しい。

リハ特化半日デイサービス (通所介護)

<法人全体では>

- ◆通所系の事業より訪問系事業の方が優先されるのではないか。

通所系事業の復旧の目安、その時期は。スタッフの体制ができる、職場の安全性（建築物として、強度、障害）の確認、ニーズの把握や事業再開の周知。

- ◆地域、地域住民との連携はこれでいいのか、居宅支援事業所はもとより地域内の事業所間のつながり・連携も十分か。法人全体の視点から検討が必要。

東日本大震災・阪神淡路大震災の 聞き取りから学んだこと(その1)

◆ガソリンは、半分になったら満タンにする

ガソリンが手に入らない可能性 ⇒車があっても支援できない
訪問系の仕事は、必須！

◆BCP・マニュアルを作るときの留意点

- ・某老人保健施設の例 重介護の人から救出？
- ・訪問看護ステーションの管理者の指示？

◆職員自身が判断できる力をつけておく

- ・時には、マニュアル通りに行動しない方がいい場合も

東日本大震災・阪神淡路大震災の 聞き取りから学んだこと(その2)

◆契約書の中に明記を！

大きな災害時には、職員の命を優先にすることを、契約書に盛り込む

- ・人工呼吸器装着で生活している利用者を放置して退去してもいいか
- ・要介護5の利用者そのままにして、自分が避難していいのか
- ・職員がトラウマに
- ・契約書で、**職員の命を優先する**ことをきちんと明記する